

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000096		
法人名	社会福祉法人 福壽会		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	佐賀県佐賀市諸富町諸富津209番地3		
自己評価作成日	平成24年2月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年3月16日	外部評価確定日	平成24年4月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活の中で笑顔が溢れ、利用者と職員が楽しく日常生活が送れる様な雰囲気作りを心がけている。又、職員が利用者の思いに添ったケアに努めれる様に考えケアにあたっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

筑後川を目の前にした白亜のコンクリート建の2階と3階の2ユニットのホームで、同一敷地には、特別養護老人ホームがあり、その特養とは2階・3階共廊下で繋がっており、人的機能(看護師・栄養士等)の連携が図られている。リビングは日当たりも良く、明るく、観光名所になっている筑後川に架かった朱色の昇開橋を眺望する事が出来る。居室は利用者のニーズにより用意されている。また、母体の総合病院とは24時間連携体制がある等、家族等の安心にもなっており、大変恵まれた環境である。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法令に準じた、独自の運営理念を定めている。	同左	地域密着型サービスの役割をふまえた利用者主体の支援を目指した理念を作り上げ、毎朝の朝礼には、全職員で唱和して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設と共同で、働きかけを行っている。	同左	地域の自治会に加入されておらず、地域の一員としての日常的交流がされていない。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、ホームが自治会加入される等、更なる交流の取り組みを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人の理解は、少しずつではあるが高まっていると思う。	同左		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回運営推進会議を開催し、サービスの向上に努めている。	同左	運営推進会議は2ヶ月に1回民生委員・地域包括支援センター職員・家族・ホーム職員の参加で開催されている。会議では、ホームの行事・運営状況等の報告や家族の意見や要望もあり、意見はサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	保険福祉課、おたっしや本舗諸富・蓮池支店と協力関係を築くよう取り組んでいる。	同左	市の担当者とは日頃から連絡をとり、情報交換や相談等を行っている。又、地域包括支援センターとは、ホームの実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については認識しているが、2ユニットで夜勤者が1名の為、やむを得ない場合は家族と十分に話し合い、家族の同意を得る。又、玄関の施錠に関しては、入居時家族に説明を行い施錠を行っている。	同左	ホームの居室が2階と3階なので、構造上玄関の鍵は掛けているが、同一法人の特養とはそれぞれ行き来が出来る。又、身体拘束の弊害も理解しており、やむを得ない場合は、家族に説明し、同意を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないように、職員間での話し合いを行い、虐待防止に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度等について研修を通じて知識を広め、気軽に相談して頂けるような支援を行っている。	同左		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時に、契約書及び重要事項説明書の内容を、利用者及び家族に説明を行い同意を得ている。	同左		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に話し掛けられる雰囲気作りを心掛けている。又、玄関に提案箱を設けている。	同左	2カ月に1回家族会を開催しており、その会議においての意見や要望は、ホームのサービスに繋げている。又、面会時には気軽に話掛けられるような雰囲気づくりを心掛けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護士会議や朝礼時など職員の意見や提案を聞くようにしている。又、緊急時は随時話し合い、意見交換を行っている。	同左	毎日の朝礼時や2カ月毎の介護士会議で職員の意見や要望や提案を聞き、ホーム長は園長へ、園長は理事長へと汲みとっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と意思の疎通を図り、働きやすい職場作りを心掛けている。	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会への参加を奨励し、研修後は、職員への報告で周知を図っている。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修・講演会等に参加し、他の施設との交流を持ち、サービスの向上に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が何でも気軽に相談出来るような雰囲気作り心掛けています。	同左		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気軽に話し掛けられる雰囲気作りを心掛けています。	同左		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来るだけ家族・本人の希望に耳を傾け、他のサービスも含め検討を行う。	同左		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の出来る事は出来るだけ手伝ってもらい、お互いの暮らしを共にするもの同士の関係を築いている。	同左		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問出来るような雰囲気作りを心掛け、家族と共に利用者支援している。	同左		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・兄弟の面会の回数を増やしてもらい、又、利用者の体調にも合わせ、家族との外出の機会を持って貰う。	同左	利用者の家族や兄弟姉妹の面会の回数を増やしてもらったり、利用者の節目のお祝い事(誕生日会・喜寿・米寿)等を家庭で過ごして戴く等の機会を多くつくってもらよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が仲良く過ごせる場所を作り、お互い助け合える場所を提供している。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、利用者や家族に対しては、出来る限りの支援を行っている。	同左		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ本人の希望・要望に合った、その人らしい暮らしが出来るように検討し支援を行っている。	同左	日々の生活の中で、本人の希望や意向を表情や言葉から汲み取り、サービスに繋げている。困難な場合は、家族を通じて情報を得て支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴を家族や本人より聞き、サービスに反映できるように努めている。	同左		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の能力に応じた環境を整え、出来るだけ職員は利用者の行動について口を出さず見守りを行うように努めている。	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者との会話及び家族からの聞き取り等によりアセスメントを実施し、個別の介護計画を作成する。	同左	本人及び家族の希望や意向を確認するとともに職員間で話し合い、現状に即した本人本位の介護計画を作成している。3～6カ月毎の定期的な見直しをしているが、体調等に変化が生じた時には、速やかに見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメント表を作成し、ケース記録として日々の生活状況を記録し、職員間で情報を共有して、介護計画の見直しに生かしている。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じた支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	母体施設を中心に諸機関への働きかけを行い、周知を図っている。	同左		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族・本人の希望があれば、希望の医療機関への通院・受診の支援を行う。	同左	受診は本人や家族の希望される医療機関としており、通院・受診の支援も行っている。同法人の特養の看護師や母体である総合病院とは24時間オンコール体制となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体施設の看護師と相談しながら日常の健康管理を行い、必要があれば受診を行う。	同左		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常時、連携体制を取っている。	同左		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族・医師・看護師・職員と相談しながら、利用者にとって最良の方法を話し合い支援を行っている。	同左	重度化した場合や終末期の対応はしていないが、利用者や家族の希望によりターミナルケアの研修を実施しており、最良の支援が出来る取り組みをはじめている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法・マニュアルを作成し、マニュアルに従い手当てを行うようにしている。又、定期的に職員が集まり、全ての職員が緊急の手当てが出来るよう実践力を身に付けている。	同左		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時のマニュアルに基づき職員に周知してもらっている。又、隣接する母体施設の職員の協力も出来ている。	同左	職員は、年2回併設の施設で行われる消火・避難等の訓練に参加している。救助袋、防火扉の設備もされており、防災用の保存食や水等も確保されている。	今後は、職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、地域住民の参加、協力を得ながらの訓練が期待される。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けを行っている。	同左	利用者個々の人格やプライバシーに配慮した言葉かけや笑顔でゆっくりと話しかけるなど、さり気ない対応がされている。又、法人全体での接遇研修が実施されており、スキルアップに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けにより、本人の希望・要望を聞き対応している。又、選択の場面を作ったり、本人の希望や自己決定が出来るように努めている。	同左		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた対応を心掛けており、生活を送る中で出来るだけ利用者の意向を尊重している。又、利用者一人一人のペースに合わせた支援を行っている。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の持参された衣類の中で、本人の希望に添った支援を行っている。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理のわずらわしさから開放された環境で、ゆっくりくつろげる雰囲気を味わってもらえるよう、板前による食事の提供を行っている。食器の片付けは職員と共に行っている。	同左	献立やカロリー計算は併設の施設栄養士によるが、調理には板前が週4～5日従事し、職員も同一食事を摂り、楽しい雰囲気である。又、利用者の力量に応じて食器の後片づけ等を手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックを行い栄養状況を把握し、利用者一人一人に応じた支援を行っている。	同左		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の能力に応じた、口腔内の清潔保持の支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別による排泄支援を行っている。	同左	利用者の排泄パターンを把握し、トイレでの自立した排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の配慮はもちろん、排泄が困難時はオリゴ糖を使用したり、適度な運動などで排泄を促している。	同左		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ本人の希望・体調に合わせた支援を行っている。	同左	特殊機械浴槽とひのき風呂があり、基本的に週2、3日おきの入浴であるが、希望すれば何時でも入浴できる。入浴を嫌がられる場合は無理強いせず、時間をおく等さりげない支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ昼寝をせずすむように、散歩や娯楽などを行い、夜間安心して眠れる様に支援している。	同左		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をバイタルチェック表に掲示し、医師の指示に従い服薬の支援を行っている。又、症状の変化の確認に努めている。	同左		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗拭きや洗濯物干し、洗濯量みなどを共に行う場面を作り、一緒に手伝って頂く。又、季節の行事等についても利用者教へてもらい楽しい雰囲気作りの支援を行っている。	同左		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は本人の体調を見ながら、出来るだけ意思を尊重し支援を行っている。又、普段行けない場所に関しては家族や地域の協力を得ながら、出来るだけ本人の希望に沿えるよう支援を行っている。	同左	外出は利用者の体調を見ながら、出来るだけ意思を尊重し、支援を行っている。又、普段行けないような場所へは、福祉タクシーを利用して家族の協力を得て外出支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じた支援を行う。	同左		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が自由に通信できるように支援を行っている。	同左		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カウンター式の台所に隣接して共同の生活空間があり、談話室の装飾においても、穏やかで家庭的な雰囲気づくりに心掛けている。	同左	共用の空間(廊下・リビング兼食堂・サロン・相談室)は清潔で、広々としている。リビングからは筑後川の流れと昇開橋が見られるロケーションである。障子にも優しい桜の花びらをあしらったり、カーテン等気配りが見られる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファを設置し、利用者が個々にくつろぎ、お互いが親睦を深められるような空間作りを行っている。	同左		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時等に家族に本人の使い慣れた物品の持ち込みについて十分に説明を行い、居室の環境作りを行っている。	同左	利用者のニーズに合った3段階の居室が用意されており、居室にはテレビ・整理ダンス・ソファ・電動椅子・家族の写真・観葉植物等馴染みの物の持ち込みがされ、日々を居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手動センサー式蛇口など安全に自立した生活が送れる様に心掛けている。	同左		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない